

## 第7回 甲府市上下水道事業懇話会 会議録

- 会議の名称：第7回 甲府市上下水道事業懇話会
- 開催日時：平成29年5月30日（火）午後3時00分～午後4時00分
- 開催場所：甲府市上下水道局 3階大会議室
- 出席委員：風間ふたば委員、塩谷知則委員、小林正直委員、落合圭子委員
- 欠席委員：込山芳行委員
- 傍聴者数：0名
- 事務局：野村業務総室長、中川工務総室長、大須賀営業管理室長、萩原水道管理室長、前嶋下水道管理室長、藤原経営企画課長、遠藤給排水課長、小林水道課長、山本浄化センター課長

### ■ 次第

- 1 開会
- 2 報告事項
- 3 懇話
  - (1) 提言書（案）について
  - (2) その他
- 4 事務連絡
- 5 閉会

### ■ 懇話内容

【職務代理】 次第3の懇話に移らせていただきます。（1）提言書（案）について事務局から説明をお願いします。

（事務局から説明）

【職務代理】 “提言書（案）について”、まず、“はじめに”では「甲府市上下水道事業経営計画2008」を策定し、これに位置づけられた各事業に取り組んできた経緯があり、これがこの次の「甲府市上下水道事業経営戦略」に活かされるようにするという内容で、座長の名前を代表とし、書かれています。人口減少など厳しい環境の中で、施設の更新及び耐震化が計画的に行われることを期待すると。それから事業経営においては、『お客様との信頼関係を大切にし、子や孫の時代にも水を通じた潤いのある生活環境を、安定的に提供し続けます』に位置付けて、将来に安心して豊かに暮らせるようにと。こういった

ことになります。このあたりはこれでよろしいでしょうか。“はじめに”については、このような形でお願いします。次に、“経営計画2008の総括的検証について”。事業の目標達成状況としては、概ね目標を達成しているが、なかにはいくつか目標を下回っている事業がありました。概ね目標を達成している事業の中でも、引き続き積極的に取り組んでほしいと書いてあるのが「『新21世紀水源保全計画』の推進」、「鉛製給水管の対策」、「下水道への接続促進」、「下水道地震対策整備」、「水道管路の耐震化」、「工事コスト縮減の推進」、「環境負荷の軽減と新エネルギーの活用」というようなことに重きを置いてくださいとお願いしているところです。この中でなにか意見等ありますか。目標を下回っている事業で、水道の有収率、下水道の有収率とありますが、地図情報システムの更新は、何を目的とした地図情報の更新のことでしょうか。

**【事務局】**これは、地図情報に管路情報とかお客さまの情報とかが入っていますが、一部未整備のデータがありまして、それを完成へ近づけるといふものになります。

**【職務代理】**管路情報とかお客さまの情報とかが入っているシステムの更新を早くしたいと。それが目標に近づくように努めるところで言っています。なにかありますか。“経営計画2008の総括的検証について”もよろしいですね。次に、“甲府市上下水道事業経営戦略の策定に向けて”ということで、まず“経営理念について”です。“はじめに”にも書いてありますが、「お客様との信頼関係を大切にし、子や孫の時代にも水を通じた潤いのある生活環境を安定的に提供しつづけます。」ということです。次が“水道事業経営戦略”、これが“水道事業ビジョン”のことで、あとで“下水道事業経営戦略”がありますが、基本的にはほとんど同じですが、“現状と課題”ということで、人口が減少、節水意識や節水機器の開発・普及による水需要の減少傾向が継続しているので、これから料金収入があまり増えない。むしろ、減少していく。そういう厳しい経営環境の中で、お客様サービスを充実させていかないといけない。それからさらにここで考えなければいけないのが、地震とか災害に備えた耐震化が急務となっていること。だから、お金がかかるけど、需要の減少による収入の減少を頭に入れながら、計画的に効率的に行ってくださいと。それから、需要減による現有施設の利用効率の低下、地震等に備えた強靱な施設の構築が必要であると、こういったことに留意して、すべきことが出来るように経営戦略で作ってくださいということです。なにか分かりにくいところとか、ありますか。

次に“経営方針について”ですが、国の新水道ビジョンで掲げる水道の理想像を踏まえて、「環境」「お客様サービス」に配慮してくださいと書いてあります。“施策について”いくつかありますが、まずは水源保全関係。これはとても大事なことなので、長期的な視点から調査研究をするとか今後も水源保全事業を積極的に推進して行ってくださいと、こちらからお願いをしている。それから水質関係ですが、これもおいしい水なのですが、これから先も続けておいしい水が水源から供給できるように水源から蛇口までの総合的な水質管理水準の向上に努めてくださいと。それから施設関係の耐震化率ですが、目標値15%に対して現在10・6%なので、これをちゃんとやってくださいと。また、施設関係は、新水道ビジョンで示されている重要項目でもあるので早急にとあります。それから経営基盤関係ですが、これも収入が減っていくので、事業を安定的に経営していくにあたり、収入の安定的な確保は重要なので努めてくださいと。それから先ほどからありますが有収率ですね。配水している水に対して、水道料金で回収できる割合、できない部分は漏水ということになるのですが、それが大きくなっていくので、なんとかしてください。その時にこれも前回話があったのですが、水道管が埋まっている場所の特徴を見て、状況に応じて、考え直す必要があるのではないのでしょうかと話があったと思います。今、こうだからとりあえずというのではなく、長い目で見て必要なことに取り組んでいったらどうでしょうかという意見があったのを反映しています。満足度の向上関係ですが、これも先ほどあったのですが、一生懸命に上下水道局の方でやっていただいているのですが、なかなか利用者へ努力が届いていない。やっぱりみんなが甲府の水道を有難いねと思っていただくには、子ども達が『甲府の水道、好きだよ』と言ってくような状況が必要であるということで、前回の懇話会で、学校教育との連携をより積極的に行ったらどうですかと提案いたしました。それから事業運営関係では、特に大事なことは、下水道でもありますが、職員の採用が抑えられている中で、退職者が増加し、高齢化が進んでいて、これまで培われた技術や経営ノウハウが次に引き継がれない。これもちゃんと歴史的なものを含めて次の世代に伝えていかなければいけないと、ここで言っています。環境関係では、配水・下水の方も同じですが、タダで水がきれいになって、おいしい水が届くわけではないので、それなりにエネルギーが必要で、それを節約・省エネルギーと併せて再生可能エネルギーの利活用の推進ということに取り組んでみたら、いかがでしょうかということ。それから広域連携の推進ですが、甲府市だけではなくて、周辺市町村との広域ということ

水というそのものが、給水区域を関係なく動くものですから、それを上手に管理していくことは、周辺の市町村との連携が必要で連携を進めてくださいと。それを進めるにあたっては、甲府市の上下水道局がリーダーシップを取っていただきたいということを言っています。それから“長期財政収支見通しについて”ですが、あまり無理をしないようにと思います。収入が減るがしっかりやっついていかないといけない等収支にギャップが生じないように気を付けながら、設備投資に取り組んでください。それから、世代の負担の公平性に配慮して、上手にお金を集めてくださいと言っています。ここまでが水道事業についての経営戦略ですが、なにかありますか。ここまでのところは、よろしいですか。次に“下水道事業経営戦略”ですが、これも“下水道事業ビジョン”ということになります。水道の現状と課題とよく似ています。人口減少や節水機器による水需要の減少、それから老朽化が進むことに伴い耐震化、下水の有収率、地下水とか浸入してきて、下水処理場で処理をしなければいけない水が増えてしまっているといったことがあります。“経営方針について”ですが、水道とほぼ同じ内容のことが書かれています。“施策について”は、6つありますが、水質保全関係についてですが、これは未接続のことで、せっかく下水管がそこまであるのに、下水道に繋がらないで近くの川に流してしまっている家庭がまだあるので、接続を促進してこれを改善していきましょう。それから施設関係では、地震等で生活に与える影響が大きいので、そういう時にどのような技術を活用するか情報を集めてくださいと。それから引き続き必要な機能確保のため、耐震化を図ってください。それからゲリラ豪雨と書いてありますが、雨の降り方が激しくなってくるので、道路の冠水等の被害から市民を守るため、浸水対策を行っていただきたい。それから経営基盤関係についてですが、収入が減っていく傾向にあっても、安定した収入の確保に努めてくださいと。それから、有収率が他都市と比較して低いということで、これは浸入水によるもので、他の水が下水道管に入ってきてしまうことがあるので、これも長期的な視点で立ち、必要に応じて対策をとってもいいのかなと思います。満足度の向上関係について、水道と同じですが、いろいろと取り組んでいるのですが、消費者に伝わっていないので、PRを含めて積極的、戦略的に取り組んで下さい。事業運営関係ですが、職員の高齢化・ノウハウの継承で危ぶまれるところがあるので、それをちゃんと適切な配置もありますが、考えてください。それから環境関係では、水道と同じですが、特に下水道では、エネルギーをたくさん使いますので、それを考えたエネルギー戦略を考えてください。それから“長期財政収支

見通しについて”ですが、これも水道と同じですが、投資と財源に収支ギャップを生じさせないようにしながら、すべきことはするように配慮してください。あと、“経営戦略フォローアップ”については、P D C Aサイクルに基づき行うこととあります。これについてもいかがでしょうか。よろしいでしょうか。次に最後のページの“おわりに”になりますが、水道が100年、下水道が50年で、その長い間で生活を支えるライフラインの大事な一つの柱として、ずっと維持してきました。そして、人口が減少していく中で、大変ですが頑張ってくださいと。それから水道事業ですが、水源の重要性について記載しています。水道の水源は、荒川上流の表流水と昭和町の地下水を持っていますが、これは甲府の水道の強みだと思います。これらの水源を含む環境を守っていただくということが書いてあります、そのためにも、気持ちだけで守るといっただけでもなく、実績が伴わないと、もしなにかあった時に、わからないとなってしまうから、やっぱりそこで官学連携事業の強化を含めて、現状をよく理解することと必要に応じて早急に対応していくことに努めていただきたい。それから、下水道事業については、有収率。これが低い水準となっていますので、対策をしっかりとお願いします。人口減少の進行とその対策で再生可能エネルギーですけども、より良く環境保全に努めてください。最後に新水道ビジョン・新下水道ビジョンについて、これらの課題にみなさんから満足される水道・下水道であるようにお願いしたいと書いてあります。これが甲府市上下水道事業経営戦略策定の提言案になります。最後に私たち委員の名前が入ってきて、これを甲府市へ提言するということとなります、ここまででなにかありますか。

【委員】これまでの積み重ねが提言になったということで、改めてみなさんと意見を交わしたのだなと思いましたが、一つ、老朽施設の更新ということで、平瀬浄水場というのは、浄水場を完全に止めて、また新たに違うところに作るということは、できるのですか。

【事務局】浄水場は、更新時期とか荒川ダムのことを考えると改めてまったく別の場所に作るというのは、考えにくい。それよりも今、急速ろ過という方法で調整を行っていますが、今のろ過とか施設はかなりコストが下がってきていますので、現状の浄水場の施設をうまく利用しながら、新しい施設へ効率的に切り替えていくやり方が現実的と考えています。

【委員】提言の中に、昔の需要が大きい時に作ったキャパのもので、稼働率が減少しているということであれば、稼働率が50～60%くらいの現状で、新たに作るもののキャパを昔の大きいのではなくて、コンパクトなもので対応で

きると。

【事務局】そうですね。当然、その更新ではそういった意見を含め、実情に即した適正な施設規模にしていこうと考えています。

【職務代理】よろしいですか。一方で、リニアが来たら、甲府市の人口が増えるというような推測もありますが、そのへんを今後10年、リニア開通のその先を見つつ、ただ減っていくだけではなくて、よく考えて、施設の更新、利用状況などを考えほしい。

【委員】ここに出ているのは、非常に膨大な内容。当然、この事業がどの程度実行されるのか、非常に大事な部分で、それにはお金がかかることがまず前提だが、これはある程度計画的に長期的なことと短期的なことを分けて考えて、できることを進めていくのがいいと思う。

【職務代理】提言案としては、こういう形でいいけども、もう少し具体的なことを考えた時に、すぐに出来ることと長期的なことをきちっと分けて、長期的なことは、先延ばしということではなくて、少しずつ取り組んでいくということではないかと。

【委員】内容について、今まで懇話会で話をしてきたことが取り入れられていて、いいのではないかと。今後、10年間の計画を立てていくかと思いますが、これまでのこととかやりっぱなしではないですけども、どこまでやったかの結果の検証が大切になると思いますのでお願いいたします。

【職務代理】文言として、最後のフォローアップのところで、PDCAサイクルに基づくところがあるので、これでいいのかなと。

【委員】提言は、市長に渡すのか。

【事務局】要綱で設置しております上下水道事業懇話会につきましては、上下水道事業管理者への提言になります。

【委員】議会への報告はありますか。

【事務局】懇話会の提言自体は、議会への報告等は、ありませんが、今回、甲府市の上下水道事業経営戦略の策定に向けた提言をいただきますので、この提言内容を踏まえる中で、新たな10年間の計画を今年度策定していきます。策定をしていく中で、経営戦略そのものの素案作りをしていきますが、まとまった段階で議会へ今後10年間の水道事業下水道事業はこのような形で運営していきますと報告をいたします。そのあと、パブリックコメントを実施しまして、広く皆様方からの意見を聴く中で、経営戦略自体の完成度を高めて、年度内に経営戦略を策定していきたいと思っております。決定されましたら、その内容について

ては、議会報告をする予定となっています。

【委員】「経営計画2017」ということですか。平成29年度内に10年分の計画を策定するということですか。

【事務局】分かりやすくいえば、そういうことです。その策定に当たって、懇話会からの提言内容を踏まえる中で、こちらでこの先10年間の事業自体をどういう風にしていくのかを検討させていただくこととなります。

【職務代理】これから作っていく甲府市の10年先を見越した上下水道事業経営戦略を作るにあたって、この中にこういったことはぜひ入れてほしいというものをこの懇話会の中から提言をさせていただいております。

【事務局】懇話会の長い期間の中で様々なご意見をいただいておりますので、それを集約したものが提言案ということになります。ここで委員のみなさまにご提言をいただいた内容につきましては、経営戦略の策定にあたり、尊重する中で、私どもの方で検討させていただきたいと思っております。

【職務代理】本日、みなさんからいただいたご意見については、本文の修正を含めて座長と本日代理をさせていただいた私に一任していただきまして、最終的に提言書をまとめさせていただきたいと思っておりますがよろしいでしょうか。

【各委員】はい。

【職務代理】ありがとうございます。それでは、“提言書（案）について”を終わります。“（2）その他”に移らせていただきます。その他でなにかありますか。無いようですので進行を事務局にお返しいたします。

以 上